

とよきたじむだより

6年生で「租税教室」が開催されました。

11月22日、宇都宮法人会北支部の皆様にお越しいただき、6年生に向けて租税教室を開いていただきました。税金がどのような所に使われているか、もし税金がなかったら私たちの暮らしはどうなるのかなど、アニメやクイズを通して楽しく学びました。



宇都宮市の歳出 1,902 億円の
うち、教育費は 168 億円です。
小中学校の運営のほか、社会教育などに使われています。

※平成29年度決算

※広報うつのみや10月号より



作り物の1億円で重さを体験！

本校ではこのように使われています

●授業で使用する教材備品購入

保護者の皆様からお預かりする学校徴収金では児童個人で使用するノートやワーク類を購入していますが、学校で共用する備品や教材類を、学校に配当される市の予算で購入しています。

購入の前に校内予算委員会を開催して検討を重ね、より分かりやすく安全に授業ができるような物品を選定し購入しています。写真は購入したものの一例です。



↑コードレスアイロン

コードがないので足を掛けて倒す等の恐れがなく、軽くて使いやすいものに更新しました。

↓ガラス鍋

米が炊ける様子を観察するという授業の目的に沿った学習ができます。



←フルフラッグ

背泳の練習で頭を壁にぶつけないよう、ターンの目印にします。カラーテープで代用していましたが、より安全に練習できるようになりました。



●施設の修繕、整備

体育館の水銀灯交換や古いカーテンの計画的更新など電機や水道、施設関係の修繕を実施し、衛生面、安全面の環境維持に努めています。

体育館の水銀灯交換

式典など大きな行事前には確認し、随時交換を行います。

図書室カーテン

特別教室を中心に、計画的更新を進めています。



とよきたじむだより

ねんせい そせいきょうしつ 6年生の「租税教室」におじゃましました！

11月に6年生の授業で「租税教室」がありました。「租税」とは、「みんなが安心して生活するために使う国や県、市のお金」のことで、「税金」とも言います。

少し難しい言葉ですが、学校にも「税金」が使われているところがたくさんあり、皆さんに身近なものでもあります。



うつのみやし 宇都宮市では、教育のために

きょねん 去年1年間で 168億円の

かね 税金が使われています。



どんなことに使われているかな？
学校で使うものはどんな風に使う
といいかな？考えてみましょう。

つくもの 作い物の1億円で重さを体験しました。

とよさときたしょう 豊郷北小で使われている税金

●授業に使うものを買います。

より分かりやすく、安全な授業ができるように必要なものを先生たちで考え、学校の予算（1年間に使えるお金のこと）で買います。

学校の予算には市の税金が使われています。

（ノートや体操着など、皆さんのおうちの人からのお金で買うものもあります。）



↑アイロン

コードがないので、使いやすく安全です。

↓ガラスでできた鍋

お米の炊ける様子をしっかりと観察できます。



←フールフラッグ

背泳ぎの練習で頭を壁にぶつけないよう、目印にします。安全に練習できるようになりました。

●壊れたところ、古いところを直します。

体育館の電球をとりかえたり、トイレを洋式にしたり、古いカーテンを新しくしたりしています。

体育館の電球をかえているところ

高いところにあるので、はしごを組み立ててとりかえます。

図書室

新しいカーテンで明るくなりました。

